

# 「やまがた科学技術政策大綱」改訂の概要

## 大綱改訂の理由

- 「やまがた科学技術政策大綱」は平成18年3月に策定され、5年が経過。政策大綱は本県の科学技術分野における施策の展開方向を示すもの。
- 国の第4期科学技術基本計画の策定（平成23年8月）
- 平成23年3月には東日本大震災が発生する等、本県の科学技術を取り巻く社会経済情勢は環境が大きく変化。
- 実用化を見据えた効果的な研究開発の加速化と、科学技術を取り巻く環境の変化に対応するため、大綱の改訂を行うもの。
- 推進期間は、これまで同様に平成27年度までとし、概ね5ヵ年。

## 基本理念

先進的な科学技術による県内産業の発展と安全で豊かな県民生活の実現

## 目指す姿

最先端の研究開発  
拠点の形成

創造性豊かな  
人材の育成

県民生活に直結した  
新たな課題への対応

新たな産業の  
創出、集積

## 基本目標

県民生活、産業活力の向上につながる科学技術の構築

知恵・知識を育み、活かす  
人づくり

生み出された知的資源の  
戦略的な活用

## 推進方向

### 1 山形の「強み」を生み出す研究開発の推進

- 先導的・戦略的な研究開発の推進と技術集積（先導的研究）
  - ・有機エレクトロニクス研究・事業化の支援
  - ・先端的なバイオ研究とその活用の推進
- （地域産業資源）
  - ・超精密加工技術等の研究の促進
  - ・農工連携研究への誘導
  - ・農業や工業の生産技術向上につながる研究の推進
  - ・農作物の品種開発の推進
  - ・農産物付加価値向上研究の推進

- 本県が直面する新たな課題への対応
  - ・省エネルギー対策関連研究の推進
  - ・再生可能エネルギー導入関連研究の促進
  - ・環境の継続的な観測の強化
  - ・食品等の監視調査の充実
  - ・地球温暖化に対応した品種開発の推進
  - ・6次産業化に向けた加工技術開発の促進

- 効果的な研究開発の推進と人的ネットワークの充実
  - ・研究の各段階に応じた効果的な研究開発の推進
  - ・産学官の連携等、人的ネットワークの充実と研究プロジェクトの創出

- 県試験研究機関の機能強化の推進
  - ・成果普及や技術移転等の機能強化の推進
  - ・科学技術に関する啓発活動の推進

### 2 科学技術を支える人材の育成・養成

- 将来の科学技術を担う人材の素地づくり（子どもの「科学する心」醸成）
  - ・先端的な科学を体験・学習できる機会の充実
  - ・科学コミュニケーター人材の発掘

- 地域の科学技術を担う人材の養成・確保（若者の科学技術に対する理解の促進）
  - ・科学ボランティア養成等による若者の科学技術の理解増進
  - ・科学技術を支える人材の定着の推進

- 研究開発を担い、推進する人材の育成
  - ・若手研究者への研究機会の拡充
  - ・派遣研修等による若手研究者の資質向上

- 技術移転・事業化を支援する人材の育成
  - ・研究コーディネーターの養成・確保

### 3 知的財産の戦略的な活用の促進

- 戦略的な活用を進めるための取組み
  - ・知的財産の活用方策の検討及び保護活用に関する普及啓発の充実
  - ・県内産業の技術力強化に向けた技術ノウハウ移転の促進

- 県内企業での県有知的財産の利用促進
  - ・優先的実施許諾の検討
  - ・円滑な活用に向けた人材養成の促進

- 共同研究で生み出された県有知的財産の有効活用
  - ・共同研究成果の効果的な活用方策の検討による利用の促進

凡例

新たに追加した区分

「新規」、「拡充」等の項目